

《カナダ提携校》菊地 亜衣（3年国際学科）リーダー

Good afternoon everyone. Today we finish prior training.

I sometimes feel long but thanks to prior training, I can make good friendship with members. I have heard that the program of Canada is severer than the program of other countries. but almost members are the people who thought will done to challenge it. When we go to Canada, we don't forget this feeling and protect Takushoku university rule. we will strive to achieve each goals. Thank you for listening

こんにちはみなさん。今日で事前研修が終わりますね。長いと感じることもありましたが、研修のおかげでメンバーと仲を深めることができました。

カナダのプログラムは他の研修国に比べて厳しいと聞いています。ほとんどのメンバーはあえてそれに挑戦しようと思った人たちです。カナダに行ってもその気持ちを忘れず、拓大の規則を守りながらそれぞれの目標に向かって努力します。

《カナダ提携校》木村 哲也（3年英米語学科）サブリーダー

私はこの研修の選考に、友人と共に応募しました。彼も私と同じようにカナダを志望していて、やる気も十分にありました。しかし今年カナダの希望者は定員以上で、彼は面接で落とされてしまいました。今回カナダへの研修だけでなく、イギリスへの研修も希望者が多く、選考に漏れた生徒が多数いると思います。私たちは合格して今ここにこうしていますが、その陰には不合格になり行けなくなってしまった人たちがいるということを忘れてはいけません。行けなくなってしまった人たちのためにも、この約半年間を意味のある充実したものにできるよう努めていきたいと思っています。

《オーストラリア提携校》アルアスワド ホセイン アブドルハディ（3年経済学科）

Good evening everyone. Thank you for coming today to listen to our speeches.

Improving my English is the main reason of taking part in this program. However, there are many other reasons such as discovering a new culture, making more friends from other countries, and learning about the Australian economy.

In Australia, besides studying, I'm planning to participate in as many social activities and events as I can. This will help me to interact with the people there and eventually improving my communication skills.

Last but not least, I want to thank Takushoku University for giving this opportunity to study abroad to learn and discover new things.

And I promise you that I will be a good representative of Takushoku University there.

Thank you

《オーストラリア提携校》岩渕 愛（2年国際学科）リーダー

私は、オーストラリア派遣団の、国際学部国際学科2年の岩渕愛です。

私達は今回、シドニーのニューサウスウェールズ大学で、8月4日から約7ヶ月半、ホーム

ステイをしながら勉強してきます。今回、8つの派遣団の内、オーストラリアが唯一の、留学生も含めた、国際色豊かな派遣団になりました。

日本人から見たオーストラリアと、海外の人から見たオーストラリアは、感じることや、考えさせられることが違うので、派遣団は5名、と少ないですが、どの派遣団よりも多くの収穫があると思います。

7ヶ月半後、今回お世話になった国際課の方々を始め、大学の職員や先生方、そして、家族、友人に、自信を持って成長した自分達の姿を見せることが出来るよう、現地では1日1日を大切に、向上心と夢を忘れず、誰よりも貴重で濃い7ヶ月半にしてきます！

《イギリス提携校》濱田 一平（2年国際ビジネス学科）

Firstly, I think I want to appreciate very much the support from my parents and school participators although we're living in a fast-pace world and must pay a lot of expenditures. So, I'd like to show my enthusiasm.

The thing that we who get in this program have to recognize is a huge responsibility on our back. It's not only deputations of our university, Japanese but Asian.

Now, we're shot accusation and sympathy looks by people of all over the world because of radioactive problem due to the Great East Japan Earthquake. But we have an obligation that we tell them the true present condition and strong of Japanese. That is the reason why we were given a lot of encouragement and bravery by people of all over the world. Especially, disaster victims, however they faced this historical culminating disaster, they are trying to beyond this suffering thanks to support from all over the world. That's why we need to show our gratitude in each visits.

Finally, as the best important thing, I think I want to enjoy this studying abroad. And I want to make this chance a meaningful as trying to improve by learning from my peers.

《イギリス提携校》平 将充（4年経営学科）リーダー

私はこの留学で異文化体験をしたいです。それは単なる美辞麗句であってはいけません。多くのことに果敢に挑戦し未知の世界で何が出来るのか、自分がどこまで通用するのかを試みます。海外での生活は自分自身をより豊かにしてくれる機会が豊富だと思います。なぜならば言葉の通じない国で習慣も違う生活の中では多くの困難に直面すると思うからです。それらの困難を解決した時こそ自分の成長に繋がるのだと私は考えます。苦しい事を乗り越えて自立心、自尊心を養います。何事にも積極的に取り組む姿勢で日常の感動や驚きを発見し、そこから何に気がついたのか、何を学んだのかを大切に、留学に行く前と行った後で自分が変わったと思えるようになりたいです。最後になりますが、留学の機会を与

えてくださった大学、両親への感謝を忘れずに悔いのない生活を送るように努めます。

《アメリカ提携校》相田 峻兵（2年英米語学科）

Good afternoon ladies and gentlemen, it is great pleasure for us to participate in this program. We believe that it give us a great opportunity to grow up ourselves. Because we can experience special things. For example firstly, we can live in all English environment at dormitory. Secondly, We can live in different culture such as food, other lifestyle ... Thirdly, we can learn the situation of US and Japan from the different point a view. Lastly, we will encounter a hardship. However what ever happens, we will overcome absolutely, and we promise to grow up and come back with all member. That is why we are very proud to leave Japan.

《アメリカ提携校》鷹野 未希（2年英米語学科）

みなさんこんにちは。

私達はこれから半年間アメリカで様々な経験をしてきます。食文化や生活様式といった日本と異なるアメリカ特有の文化が私達をきっと成長させてくれるでしょう。時にはその違いに戸惑うこともあると思います。しかし、何が起きても私達は互いに支え合って乗り越え、そして全員で無事に日本に帰ってきます。最後に、このような機会をくださった、先生方や学校関係者の方々、そして私達を応援してくれている家族に感謝します。

《中国提携校》武川 美佳（3年中国語学科）

大家好。我们这次将有十个人去北京北方工业大学，其中三年级学生五个人，二年级学生五个人。与往年比，三年级学生比较多，为了拉近学年间的距离，我们会一起活动，开展学习会，互相切磋，努力提高语言能力。

另外，由于长期留学，我想会有人想家，不适合环境，精神上产生一种不安。这时，我们会互相沟通，互相支持，希望等到最后回顾这些经历的时候，大家都会认为这是一次很有意义的留学。

我们一定会掌握好汉语，充满自信地回国。

为此我希望，创造更多的机会让大家走出去，接触地道的汉语。不仅为了接触当地的文化，与中国人交流，去体会在日本不到的东西。谢谢大家。

《中国提携校》荒井 友花（3年中国語学科）リーダー

私たちは、今回3年生5人・2年生5人の10人で北京・北方工業大学に留学に行きます。例年に比べ、3年生が多いので学年間の隔たりができないように、皆で一緒に出かけたり、勉強会などを開きながら一人一人の語学力の向上に努めていきます。そのために、皆で積極的に外へ出かけ、生の中国語に触れる機会を増やしていこうと思います。語学力だけでなく、留学先の文化に触れるために、中国人と交流し、日本では学べないことを現地で感じてきます。

また、長期間の留学ということで、ホームシックになる人や環境になれず精神的に不安定になる人も出てくると思います。その時は、声を掛け合い互いに支え合って、最後に振り返ったときに"いい留学だった"と思えるように協力していきます

必ず皆が中国語をマスターし、自信をもって帰ってきます。

《台湾提携校》來 知音（2年中国語学科）

我们将在八月六日到台湾受训八个月。我们在台湾会拼命的努力学习更多的中文。不只是中文，也想认识台湾的历史，文化，和生活习惯。我们在台湾所学的，对将来一定有很大的帮助。我们也希望透过这次的受训能得到更多的成长。

谢谢大家的支持和鼓励。

私たちは8月6日から8ヶ月間台湾へ研修に行きます。頑張って多くの中国語を学んできました。また中国語だけでなく台湾の歴史、地理、政治、文化等も学んできます。これらから外国文化とのつきあい方も学べるはずです。きっと将来に役立つことでしょう。私たちはこの留学で成長していきます。8ヶ月後皆さんに私たちの成長を見せたいです。

《台湾提携校》太田 晃平（3年中国語学科）リーダー

みなさん、こんにちは。私は外国語学部中国語学科3年、台湾東呉大学へ留学予定の太田晃平です。私は今回、この台湾留学メンバーのリーダーを務めさせていただいています。

今回3年次での長期留学参加となりましたが、自分は、今のまま同じ環境で勉強するよりも、いっそのこと環境を変えてみて勉強しようと思ったのが留学参加への動機でした。他には、昨年長期留学へ行った同級生たちが、FaceBook などを通じてとても有意義な留学生活を送っているのを見て、それが刺激になったのもキッカケの1つです。今回、3年次での参加ということで、親や友人たちから就職活動への影響を心配されましたが、自分は全く心配しておらず、むしろこの留学に行くことで、自分を見つめ直すいい機会だと思いました。留学するにあたって、まず留学できることに感謝したいと思います。親の理解や費用など、何一つ欠けてもこの留学は実現しません。なのでこの留学へは、3つ自分で課題を持って臨みたいと思います。

1つ、この留学で会話力を上げること。机上の勉強は日本でも出来ますが、会話の勉強は国内ではそう簡単に機会がありません。なので現地にて積極的に人と交流をし、教科書には載っていない言葉も覚えたいと思います。

2つ、学科内で行われる行事で良い成績を残すこと。華語班によるスピーチ大会や華語検定などがあり、どれも自分の留学での成果を確認するための良い機会です。

3つ、帰国後の就職活動への準備を始めること。帰国後に就活の準備を始めても、日本にいる人たちに比べ遅れをとってしまうので、留学中からSPI対策・時事問題対策などをしていきたいです。

留学への残された時間は少ないですが、来年帰国後、親や先生方などに胸を張って帰ってこれるよう、一所懸命努めたいと思い、私の決意表明とします。

《スペイン提携校》大石 宏太郎（3年スペイン語学科）サブリーダー

Dentro de un mes, nos vamos a España para estudiar español.

El motivo de que participamos en este cursillo es no solo adquirir español sino también practicar el idioma como vehículo de comunicación e intensificar la comprensión intercultural por actividades de intercambio.

Hoy se extiende la idea de “la internacionalización”. ¿Que es la internacionalización? Este cursillo nos da muy buena oportunidad de experimentarlo.

Vivir fuera de Japón es una ocasión para volver a fijar la mirada en nosotros mismos, en nuestro país y en la cultura japonesa.

Tenemos que agradecer a nuestra familia y siendo consciente de que somos representantes de la Universidad Takushoku, queremos hacer de este cursillo valioso.

《スペイン提携校》住谷 拓夢（3年スペイン語学科）リーダー

私たちはあと一ヶ月もしないうちにスペインへ旅立ちます。私たちがこの研修に参加する目的は、スペイン語を修得する為だけではなく、コミュニケーション能力を高めることや異文化交流を通じて異文化への理解を深めることです。

現代では国際化という言葉が広まり、いたるところで使われていますが、身をもって体験することで国際化とは何か、ということを考えています。

日本を離れることは、自分を見つめ直すと同時に今の日本の文化や日本人について見つめ直す良い機会でもありと考えています。

私たちは協力してくれる先生方や国際課の方たち、そして家族に感謝し、この大学の代表として研修に参加するという自覚と誇りを持ってスペインへ行き、この研修を意味あるものにしたいと思っています。

《メキシコ提携校》沼口 絵莉香（2年スペイン語学科）リーダー

Buenas tardes. Voy a hablar en representación del grupo de México.

Muchas personas nos han preguntado si no era peligroso la estancia de México porque en las noticias informan que México carece de seguridad pública, sin embargo no sirve para nada tener tanto miedo. Creo que informar a todos de la situación de México es uno de nuestros objetivos de este programa. Aprendiendo a cuidarnos a nosotros mismos, podremos alcanzar nuestros sueños y aprender a actuar sin vergüenza.

Pase lo que pase seremos amigos para toda la vida y nos ayudaremos mutuamente.

Cuando volvamos de México, seremos como mexicanos o mexicanas auténticos.

Finalmente quisiera agradecer a los profesores que nos han elegido como estudiantes de este programa, a los oficinistas de la universidad y a nuestros padres

que nos han dado esta brillante oportunidad. Gracias por su atención.

《メキシコ提携校》早川 みどり（2年スペイン語学科）

皆さん、こんにちは。メキシコのグループ代表としてスピーチさせていただきます。

今回、メキシコへ長期留学するにあたり、たくさんの方から向こうでの治安や、現在の状況について、危ないのではないかという心配の声を頂きました。それは日本でのニュースでも多く報道されている通りです。しかし、怯えてばかりいても、どうにもなりません。

こういった今だからこそ、現在のメキシコの正確な状況を実際に目で見て日本へ伝えることも留学の目的の1つだと考えます。自分たちの身の安全を第一に考えながら、私たちそれぞれが持つ留学への目標を成し遂げ、日本人として、拓大生の代表として、恥じることはないよう行動したいと思います。現地で、実際何が起こるか分かりません。しかし、どんな小さなトラブルでも互いに助け合える無二の共同体として精進したいと思います。

私たちが帰国する頃には6人全員にメキシコの血が流れていることでしょう。

最後に、今回の留学生代表として選んでくださった先生方、たくさんの手続きをしてくださった事務の皆様、そして、こんな素晴らしい機会を与えてくれた両親たちに感謝をしたいと思います。ご静聴ありがとうございました。